

## 2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	ヒートアイランド小委員会	主 査 名：足永靖信 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：吉野博 主 査 名：
設 置 期 間	2007 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	ヒートアイランドは多様な要因が複雑に絡む現象であり、対策を推進するに当たっては発生メカニズムの解明を行う必要がある。 本小委員会では多様な要因、スケールで生じるヒートアイランド現象のメカニズムの検討を行うと共に、行政・自治体等の社会事業に役立つ効果的な方策を提案する。 ・2007 年度： ニュースレターの発行 ・2008 年度： ニュースレターの発行、シンポジウムの開催	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 足永靖信(主査：建築研究所), 大岡龍三(幹事：東京大学), 渡邊浩文(幹事：東北工業大学), 吉田治典(京都大学), 成田健一(日本工業大学), 持田灯(東北大学), 下田吉之(大阪大学), 谷本潤(九州大学), 堤純一郎(琉球大学), 近藤裕昭(産業総合研究所), 一ノ瀬俊明(国立環境研究所), 近藤靖史(武蔵工業大学), 鍵屋浩司(国土技術政策総合研究所), 橋本剛(筑波大学), 岡本幹太郎(日本設計) (海外アドバイザー) アクバリ(LBNL), マイヤー(LBNL), パウミュラー(シュツットガルト大学)	
設置 WG (WG 名: 目的)	都市気候モデリングWG 都市気候の形成要因や発生メカニズム、ヒートアイランドが人間活動に与える影響、資源エネルギー環境、地球環境等に及ぼす影響のトータルな予測・評価とモデリング技術の検討を行う。また、複数の研究機関で連携して風洞実験や数値モデルの相互比較の検討を進める。	
2007 年度予算	円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価	
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)	
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1 .(書名)	
講習会	1 .(名称)	参加者数 名
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1 .(名称) (資料名) 2 .(名称) (資料名)	参加者数 名 参加者数 名
大会研究集会	1 .(名称) (資料名)	参加者数 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	1 .	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1 .2006 年度日本建築学会国際交流振興基金「建築分野におけるヒートアイランド研究成果の国際啓蒙事業」の採択に伴うニュースレターの発行 (Vol.1-3) 2 . 都市気候モデリング WG における研究情報の収集 3 . 皇居、汐留等の現場見学 (2007.11)</p>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<p>1 . ヒートアイランド対策指針 2 . 自治体事業との連携</p>

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。